

脳内アミロイド蓄積国際比較研究 (INTERAB study)に参加された患者さん・ご家族様  
へ研究へのご協力をお願い

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、日常診療で得られた以下の診療情報を研究データとしてまとめるものであり、ご自身またはご家族の健康に関する新たな結果が得られるものではありません。また、研究のために、新たな検査などは行いません。この案内をお読みになり、ご自身またはご家族がこの研究の対象者にあたると思われる方で、ご質問がある場合、またはこの研究に診療情報を使ってほしくないとのご意思がある場合は、遠慮なく下記の担当者までご連絡ください。お申し出による不利益は一切ありません。ただし、すでに解析を終了している場合には、研究データから情報を削除できない場合がありますので、ご了承ください。

【対象となる方】2019年7月～2022年5月の間に、INTERAB studyに参加された患者様

【研究課題名】脳血管障害とイソフラボン代謝産物との関連の検討

【研究責任者】 国立循環器病研究センター 脳神経内科 医長 服部 頼都

【研究の意義・目的】

本研究は、これまでのカルテ情報等を解析し、脳血管障害診療におけるイソフラボン代謝産物(エクオール)の有効性を明らかにすることを目的としています。本研究の成果は、将来的に脳血管障害診療の質の向上に繋がることが期待されます。

【利用する診療情報】

診断名、年齢、性別、生年月、身長・体重・腹囲、内服薬、血圧、日常生活活動度の modified Rankin Scale (mRS) スコア、脳卒中重症度の NIH Stroke Scale (NIHSS)、既往歴、併存疾患名、血液検査(血球数、生化学検査、凝固検査、イソフラボン代謝産物など)、画像検査(MRIまたはCTなど)、認知機能検査、生理検査

【研究期間】研究許可日より2025年3月31日まで(予定)

【情報の管理責任者】国立循環器病研究センター 理事長

【個人情報の取り扱い】

お名前、住所などの個人を特定する情報につきましては厳重に管理を行い、学会や学術雑誌等で公表する際には、個人が特定できないような形で使用いたします。この研究で得られた情報を将来、二次利用する可能性や研究計画書を変更する場合があります。その場合は、研究倫理審査委員会での審議を経て、研究統括管理責任者の許可を受けて実施されます。二次利用する際に文書を公開する場合は、国立循環器病研究センター 公式サイト (<http://www.ncvc.go.jp>) の「実施中の臨床研究」のページに掲載いたします。

【問合せ先】 国立循環器病研究センター 脳神経内科医長  
服部頼都

電話 06-6170-1070